



2017年3月期 決算説明会

決算総括および中期経営計画

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用しております。
なお、前年度の数値についても、IFRSに準拠して表示しております。

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 家次 恒

2017年5月11日

本日の内容

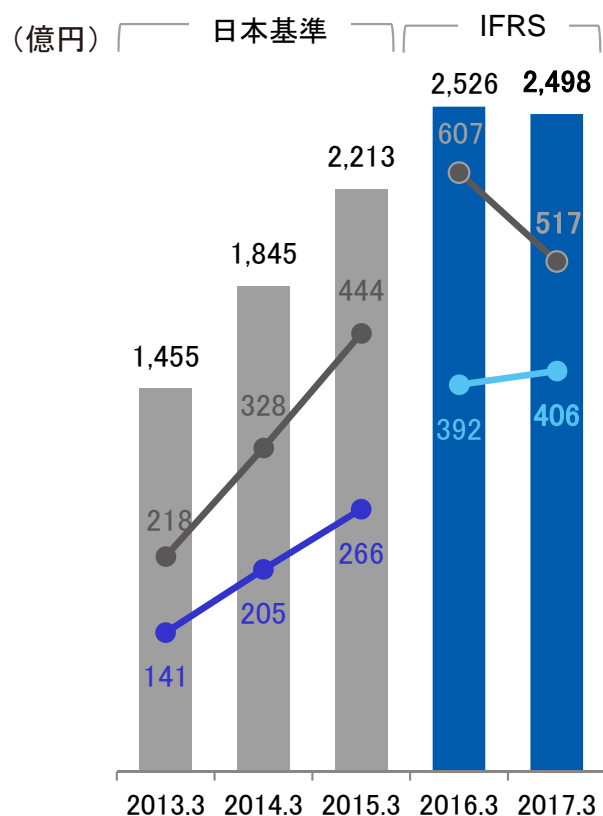
- Chapter 1 2017年3月期 決算総括
 - Chapter 2 前中期経営計画(2015年5月公表)の振り返り
 - Chapter 3 中期経営計画(2018年3月期～2020年3月期)
 - Chapter 4 2018年3月期 業績予想
-
- 補足資料 中期経営目標

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

Chapter 1

2017年3月期 決算総括

決算総括



※日本基準では親会社株主に帰属する当期純利益
IFRSでは親会社の所有者に帰属する当期利益を記載

| | 2017年3月期 | 前年同期 |
|------|----------|--------|
| 1USD | 108.4円 | 120.1円 |
| 1EUR | 118.8円 | 132.6円 |
| 1CNY | 16.1円 | 18.9円 |

Copyright by Sysmex Corporation

| | 2017年3月期 | | 前年同期 | | (億円) 前年同期比 |
|------------------|----------|-------|---------|-------|---------------|
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | |
| 売上高 | 2,498.9 | 100% | 2,526.2 | 100% | 98.9% |
| 売上原価 | 1,081.2 | 43.3% | 1,019.3 | 40.3% | 106.1% |
| 販売費及び一般管理費 | 754.0 | 30.2% | 745.7 | 29.5% | 101.1% |
| 研究開発費 | 155.5 | 6.2% | 154.0 | 6.1% | 100.9% |
| その他の営業損益 | 8.8 | 0.4% | 0.2 | 0.0% | - |
| 営業利益 | 517.0 | 20.7% | 607.2 | 24.0% | 85.1% |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 406.3 | 16.3% | 392.7 | 15.5% | 103.5% |

- **売上高** 現地通貨ベースでは全所在地で増収も、円高の影響が大きく円ベースでは減収
- **営業利益** 円高の影響および原価率悪化等により減益
- **為替差損益** △22.1億円（前年同期：△27.4億円）
 - 為替の影響 売上高 △ 264.1億円 営業利益 △ 111.8億円
 - 前年同期為替レート適用の場合 売上高 109.4% 営業利益 103.5%
 - 為替の影響および一過性要因を除外した場合は営業利益 105.7%
- **当期利益** 日独租税協定改正の影響（+51.2億円）等もあり増益

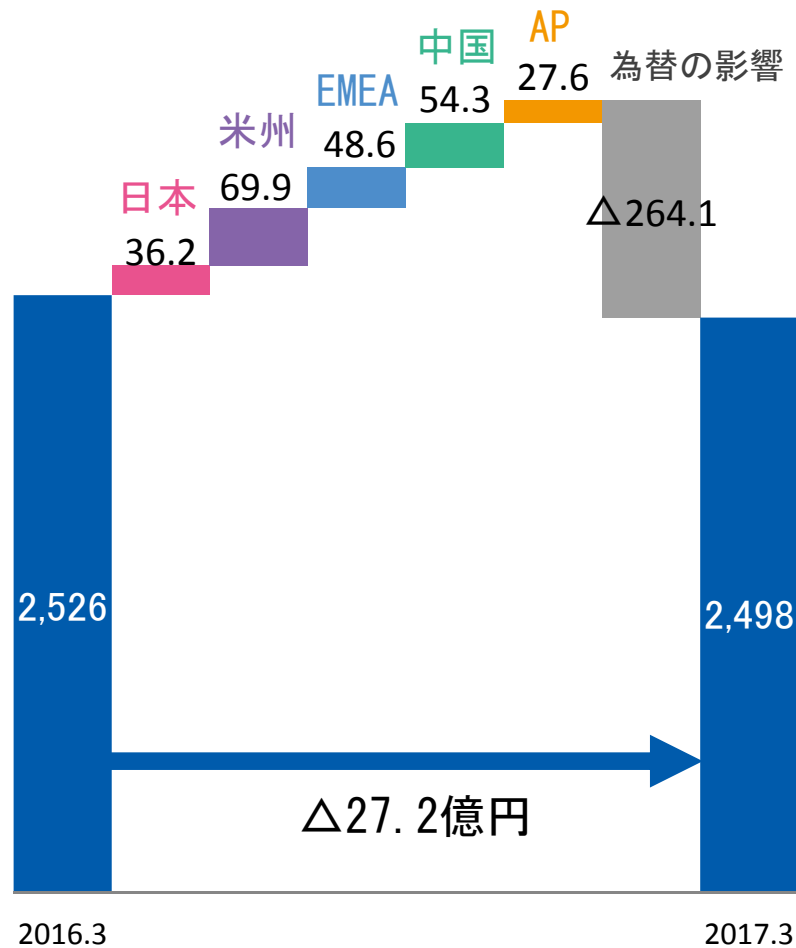
売上高・営業利益の増減要因



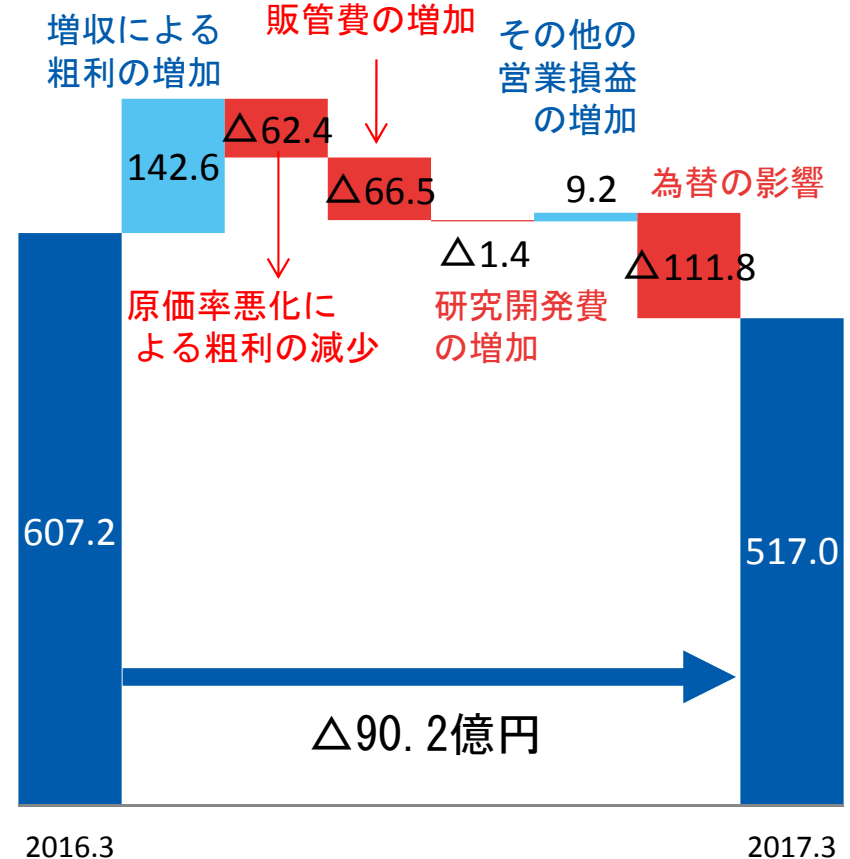
(億円)

売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



営業利益



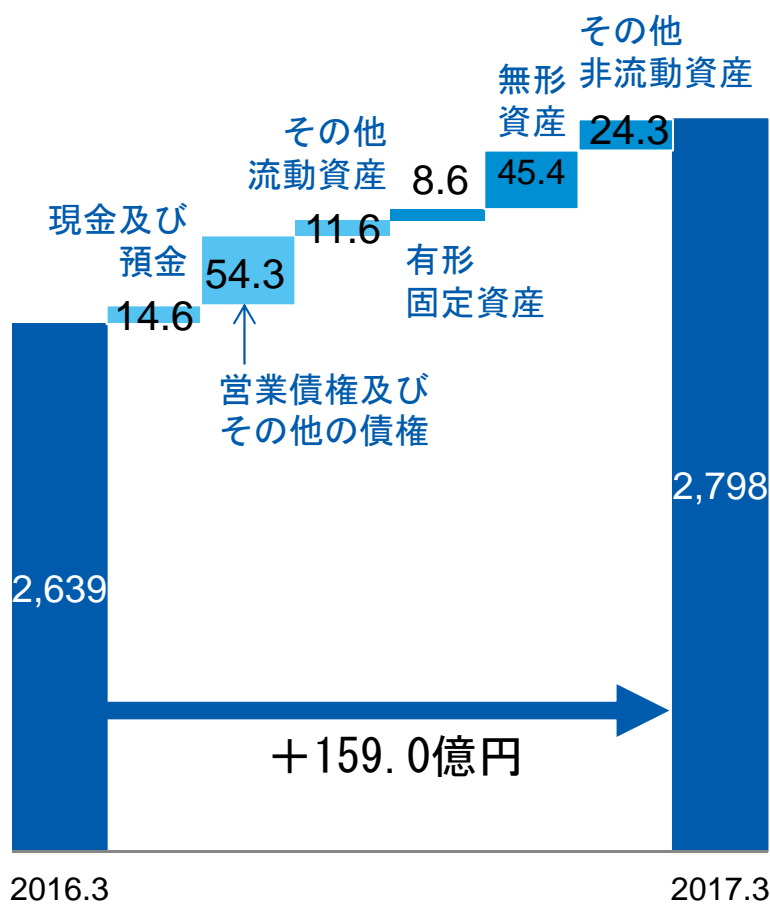
連結財政状態計算書の増減要因



(億円)

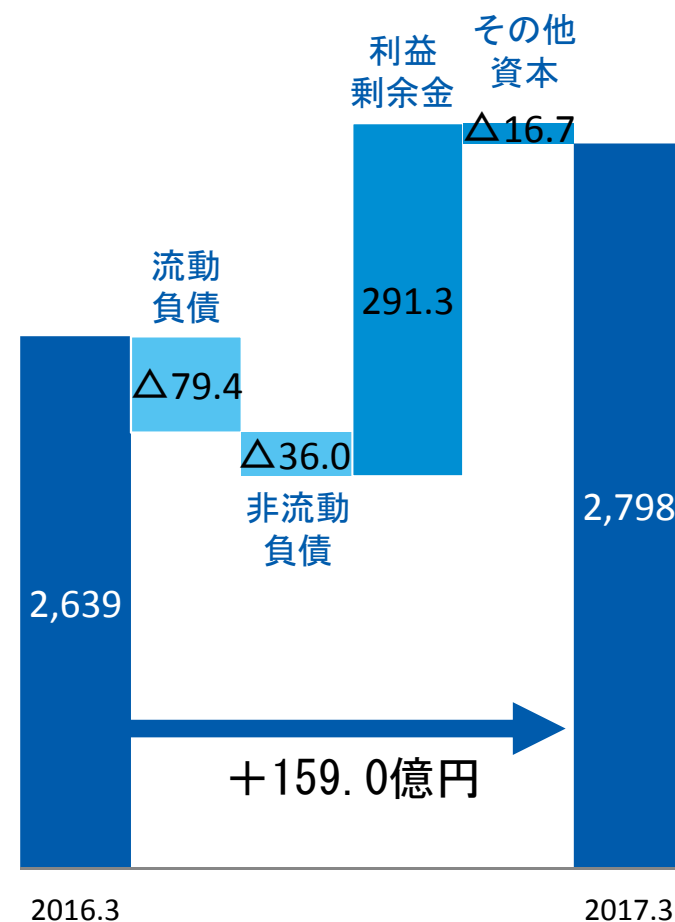
資産の部

流動資産 +80.6
非流動資産 +78.4

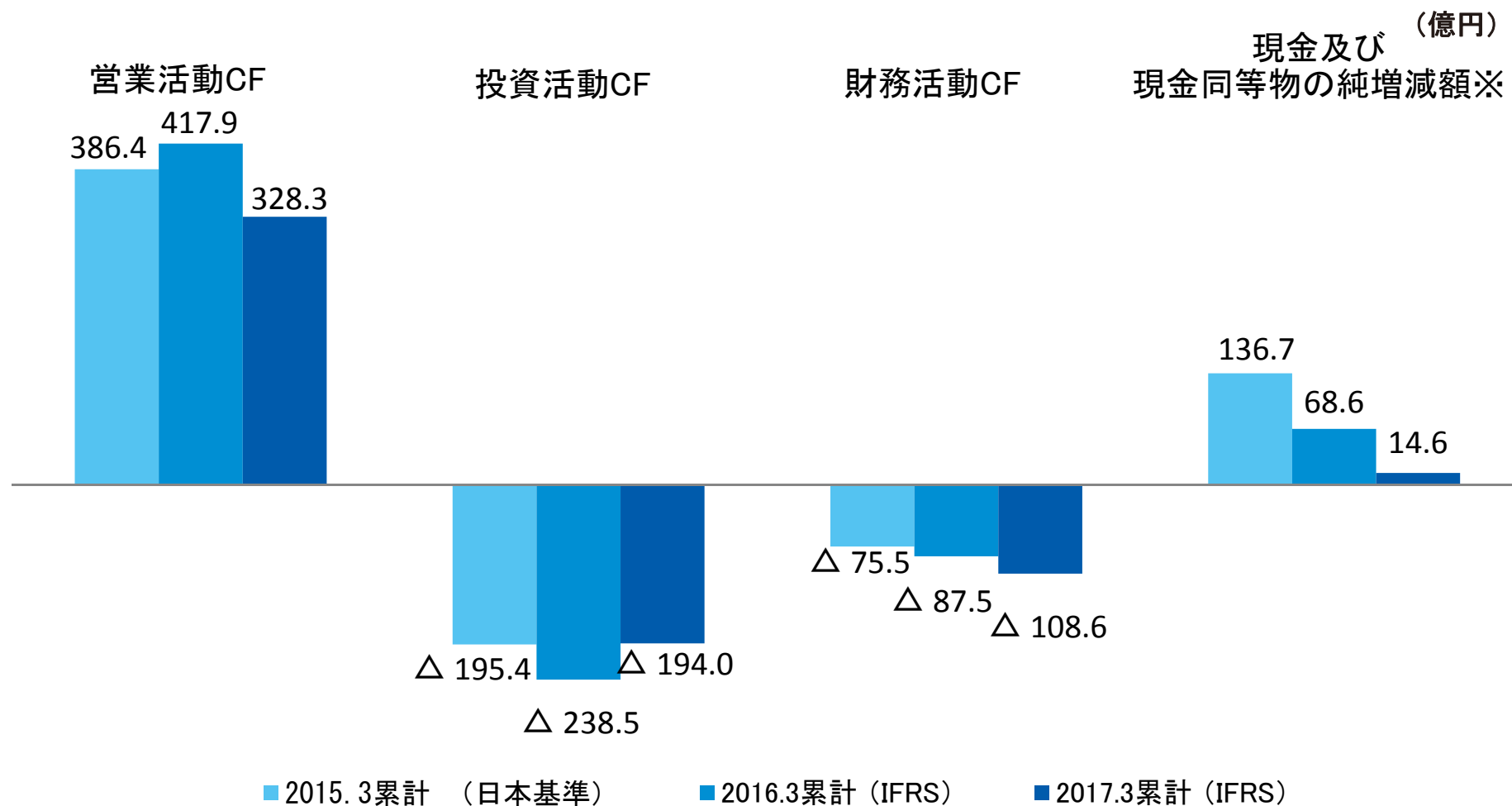


負債・資本の部

負債 △ 115.5
資本 + 274.5



キャッシュフローの推移



※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております

経営・事業

月は当社リリース月に基づく

- シーメンスヘルスケア社との血液凝固関連製品に関するグローバルでの販売・サービス契約を更新（4月）
- ミャンマーにおいてシスメックスアジアパシフィックの支店を設立（5月）
- 台湾において代理店の事業譲受により、販売・サービス体制の強化を発表（2017年5月より直販開始）
- ゲノム医療の実用化に向けた体制強化のため、理研ジェネシスの株式追加取得による子会社化（6月）
- 米国大手検査センターとの契約を締結（11月）

製品・技術

- アステラス製薬株式会社および第一三共株式会社と、血中循環がん細胞解析法構築に関する基本合意書を締結（12月）
- ゲノム医療の臨床実用化を目指し、東京大学とがんおよび希少性疾患に関する共同研究契約を締結（2月）
- がん関連遺伝子パネル検査システムが厚生労働省の「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定（3月）

その他

- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に初選定（9月）
- 2017年度版「Global 100」（世界で最も持続可能な100社）に選出（1月）

所在地別売上高



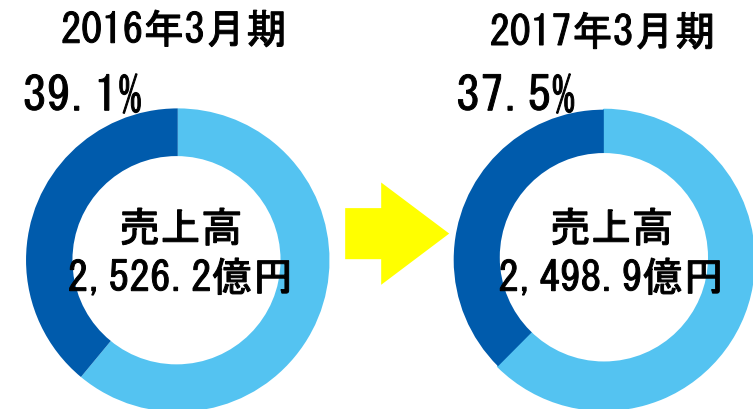
(億円)

| 所在地別売上高 (外部売上) | | | | | | | |
|----------------|----------|-------|---------|-------|-------|--------|----------|
| | 2017年3月期 | | 前年同期 | | 前年同期比 | | |
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | 円 | 現地通貨 | |
| 売上高 | 2,498.9 | 100% | 2,526.2 | 100% | 98.9% | - | |
| 所在地別 | 米州 | 565.8 | 22.6% | 559.4 | 22.1% | 101.1% | 112.1% |
| | EMEA | 649.2 | 26.0% | 684.5 | 27.1% | 94.8% | 105.9% |
| | 中国 | 603.1 | 24.1% | 651.4 | 25.8% | 92.6% | 108.3% |
| | AP | 211.7 | 8.5% | 200.6 | 8.0% | 105.5% | (113.4%) |
| | 日本※ | 469.0 | 18.8% | 430.0 | 17.0% | 109.0% | - |

※IDEXX社等含む外部売上

| 為替レート | | |
|-------|----------|--------|
| | 2017年3月期 | 前年同期 |
| 1USD | 108.4円 | 120.1円 |
| 1EUR | 118.8円 | 132.6円 |
| 1CNY | 16.1円 | 18.9円 |

● 新興国の売上高比率



事業別売上高



(億円)

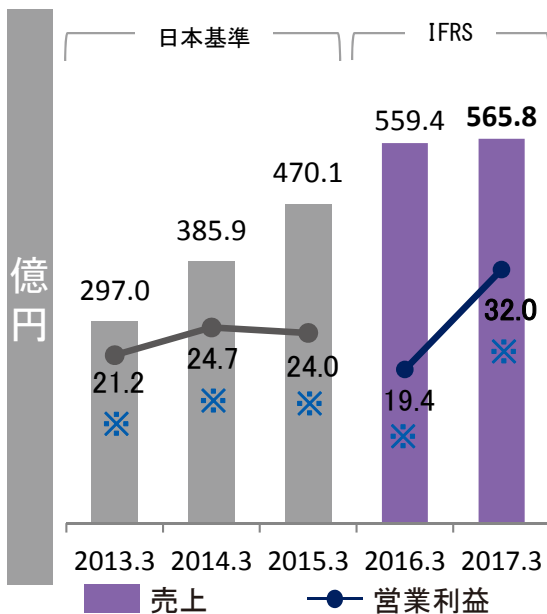
| | 2017年3月期 | | 前年同期 ^{※1} | | 前年同期比 | 参考： 前年同期比 (前期レート) |
|-------------------|----------|--------|--------------------|--------|--------|-------------------------|
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | | |
| ヘマトロジー | 1,594.6 | 63.8% | 1,591.8 | 63.0% | 100.2% | 110.7% |
| 尿 | 161.0 | 6.4% | 175.2 | 6.9% | 91.9% | 102.9% |
| HU-BU | 1,755.6 | 70.3% | 1,767.1 | 69.9% | 99.4% | 109.9% |
| 免疫 | 80.3 | 3.2% | 77.5 | 3.1% | 103.7% | 111.9% |
| 生化学 | 33.8 | 1.4% | 35.9 | 1.4% | 94.2% | 102.0% |
| 凝固 | 409.1 | 16.4% | 441.6 | 17.5% | 92.6% | 104.5% |
| ICH-BU | 523.4 | 20.9% | 555.1 | 22.0% | 94.3% | 105.4% |
| LS-BU | 46.1 | 1.8% | 33.8 | 1.4% | 136.2% | 148.5% |
| その他 ^{※2} | 173.7 | 7.0% | 170.1 | 6.7% | 102.1% | 108.6% |
| 売上高 計 | 2,498.9 | 100.0% | 2,526.2 | 100.0% | 98.9% | 109.4% |

※1 前年同期実績： 2017年3月期1Qから事業区分を一部変更したことにより、従来の「HU-BUのその他」を「その他」へ組み替え。

※2 その他： 臨床検査システム(従来「HU-BUその他」に区分)、仕入商品(従来「その他IVD」に区分)、研究用・産業用FCM製品等を含む。

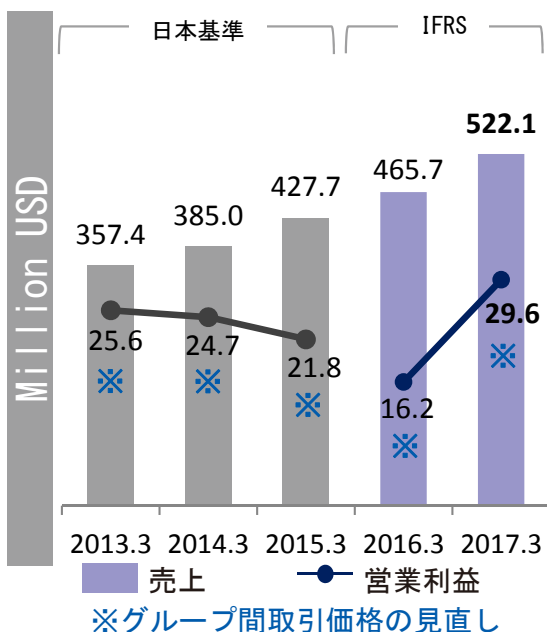
HU-BU： HU ビジネスユニット (ヘマトロジー分野、尿分野)
 ICH-BU： ICH ビジネスユニット (免疫、生化学、凝固分野)
 LS-BU： LS ビジネスユニット (ライフサイエンス分野)

米州における取り組み（所在地別）



| (億円) | 2017年3月期 | 前年同期 | 前年同期比 | |
|-------|----------|-------|--------|-----------|
| | | | (円ベース) | (現地通貨ベース) |
| 売上高 | 565.8 | 559.4 | 101.1% | 112.1% |
| 営業利益※ | 32.0 | 19.4 | 164.6% | 182.4% |

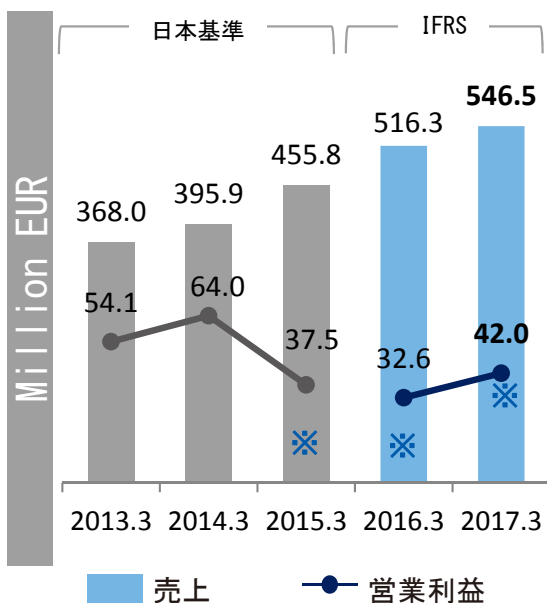
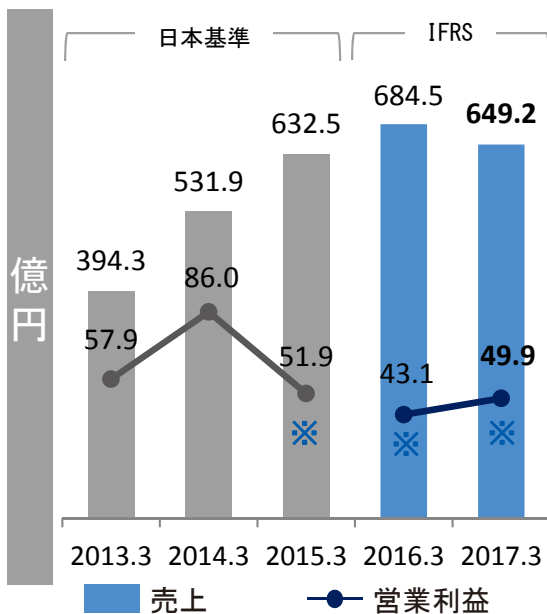
- 現地通貨ベースでは、米国におけるヘマトロジー分野の伸長により二桁増収となるも、円高の影響により円ベースでは微増
- 増収効果および物品税の一時的な停止による影響(+4.0億円)に加え、グループ間取引価格の見直し等により増益



現地通貨ベース

- 米国 西海岸エリアの攻略や大手検査センターの獲得等によりヘマトロジー分野が好調に推移し増収
- 中南米 メキシコの政府大型案件を獲得するも、ブラジルの景気減速の影響により減収

EMEAにおける取り組み（所在地別）



※グループ間取引価格の見直し

Copyright by Sysmex Corporation

EMEA：欧州、中東、アフリカ地域

| (億円) | 2017年3月期 | 前年同期 | 前年同期比 | |
|-------|----------|-------|--------|-----------|
| | | | (円ベース) | (現地通貨ベース) |
| 売上高 | 649.2 | 684.5 | 94.8% | 105.9% |
| 営業利益※ | 49.9 | 43.1 | 115.7% | 129.1% |

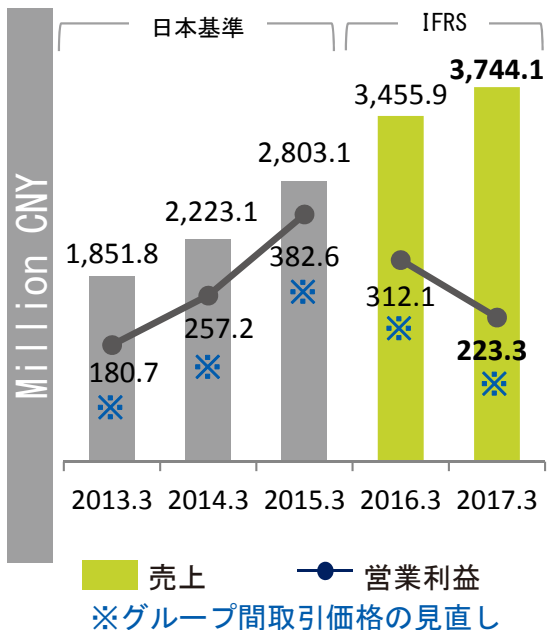
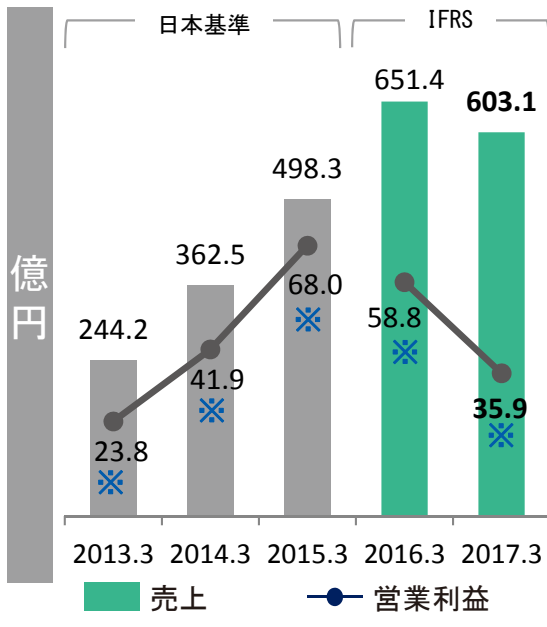
- 現地通貨ベースでは、フランスやドイツ等の先進国に加え、新興国でもトルコやロシア等が伸長し増収。円ベースでは、円高の影響により減収
- グループ間取引価格の見直しおよび販管費の抑制もあり増益

Partec、Inosticsを除外した場合 売上 96.2%、営業利益 111.7% (円ベース)
 売上 107.3%、営業利益 124.7% (現地通貨ベース)
 上記に加え域内通貨の影響も除外した場合 売上 108.8%

現地通貨ベース

- 主要5カ国 BREXITの影響によりイギリスで入札案件が一部停滞するも、尿分野や凝固分野の直販を開始したフランスなどが好調に推移し増収
- 東欧・ロシア ロシアで機器設置台数増加によりヘマトロジーや、凝固分野の試薬売上が伸長し増収
- 中東・アフリカ イランやサウジアラビアでヘマトロジー分野の機器設置台数増加に伴い試薬売上が伸長し増収

中国における取り組み（所在地別）

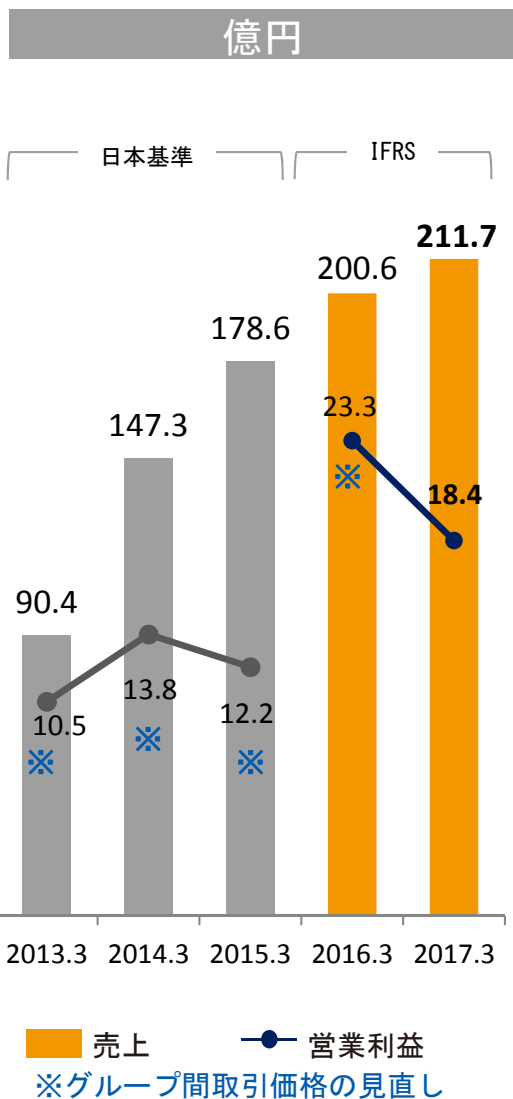


| (億円) | 2017年3月期 | 前年同期 | 前年同期比 | |
|-------|----------|-------|--------|-----------|
| | | | (円ベース) | (現地通貨ベース) |
| 売上高 | 603.1 | 651.4 | 92.6% | 108.3% |
| 営業利益※ | 35.9 | 58.8 | 61.1% | 71.5% |

- 現地通貨ベースでは、機器売上が代理店在庫調整の影響を受けるも、各分野で試薬売上が伸長し増収。円ベースでは円高の影響により減収
- 対ドル人民元安の影響で、日本からの仕入価格（ドル建て）が上昇したことにより原価率が悪化し、大幅減益

- ヘマトロジー分野 機器売上が低調となるも、試薬売上が伸長し微増
- 凝固分野 血栓症検査の需要拡大により試薬売上が好調に推移し増収
- 尿分野 新製品発売を控え、機器売上が低迷するも試薬売上が伸長し微増
- 免疫分野 機器売上が減収するも、稼働台数増加に伴い試薬売上は伸長

APにおける取り組み（所在地別）



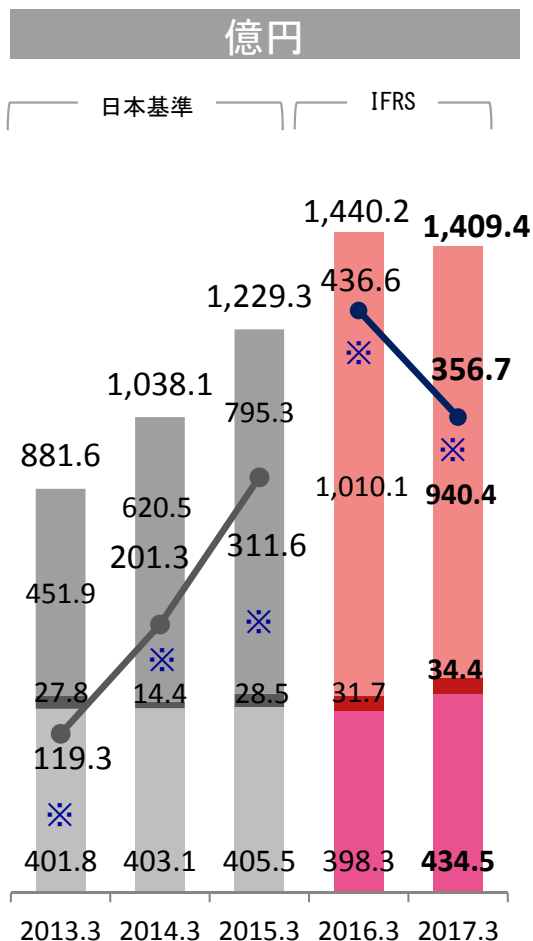
| (億円) | 2017年3月期 | 前年同期 | 前年同期比 (円ベース) |
|-------|----------|-------|-----------------|
| 売上高 | 211.7 | 200.6 | 105.5% |
| 営業利益※ | 18.4 | 23.3 | 79.0% |

- AP域内通貨における円高の影響があるも、ヘマトロジー分野に加え、凝固・免疫分野も好調に推移し増収
- 機器の売上構成比増加およびAP域内通貨における円高の影響等により原価率が悪化し減益

※ 域内通貨による為替の影響を除外した場合：売上 113.4%

- **東南アジア** ベトナムではヘマトロジー分野が好調に推移し、インドネシアでは国民皆保険導入の影響もあり、ヘマトロジー分野および免疫分野の機器売上が好調に推移し増収
- **オセアニア** オーストラリアでのヘマトロジー分野等の大型案件獲得により大幅増収
- **韓国・台湾** 韓国での売上が円高の影響により減収（現地通貨では増収）

日本における取り組み（所在地別）



- 内部売上高：関係会社への輸出等
- 外部売上高：IDEXX社等
- 外部売上高：日本
- 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

| (億円) | 2017年3月期 | 前年同期 | 前年同期比 |
|---------|----------|---------|--------|
| 売上高 | 1,409.4 | 1,440.2 | 97.9% |
| 外部 | 469.0 | 430.0 | 109.0% |
| 日本 | 434.5 | 398.3 | 109.1% |
| IDEXX社等 | 34.4 | 31.7 | 108.5% |
| 内部 | 940.4 | 1,010.1 | 93.1% |
| 営業利益※ | 356.7 | 436.6 | 81.7% |

- 国内売上は、試薬売上が貢献し伸長。所在地全体では、海外グループ会社向け内部売上が円高の影響等により減収
- グループ間取引価格の見直しや一過性要因、海外グループ会社向け輸出の円高影響等により減益

- 日本 ヘマトロジー・尿・免疫・凝固分野における試薬売上を中心とした伸長に加え、理研ジェネシス子会社化の影響もあり増収
- IDEXX社等 IDEXX社向け動物用機器の売上伸長により増収

予想配当額 15期連続の増配（案）



- ・ 2016年3月期に対し、年間で6円の増配
- ・ 中間見直し（11月公表：期末28円）に対し、2円の増配

| | 中間 | 期末 | 年間 | 配当性向 |
|-----------------|------|---|-----|--------|
| 2016年3月期 | 24 円 | 28円 | 52円 | 27.5 % |
| 2017年3月期 (案) | 28円 | 30円 <small>※第50回定時株主総 会に付議する予定</small> | 58円 | 29.7 % |

Chapter 2

前中期経営計画(2015年5月公表)の振り返り

収益力

成長と収益力の強化

実績

- ・ヘマトロジーシェア拡大（米国西海岸、大手検査センター攻略、新興国展開等）
- ・XN-L市場導入による新興国および下位市場の販促強化
- ・尿分野：アライアンス締結によるポートフォリオ拡充
- ・凝固分野：CSシリーズの市場導入推進

課題

- ・尿分野（定性・沈渣）の新製品市場導入
- ・為替変動への対策

投資

成長への投資

実績

- ・中国、アジアにおける免疫分野の拡大
- ・リキッドバイオプシーの研究開発力強化
- ・理研ジェネシス子会社化による遺伝子検査事業の拡充

課題

- ・クリニカルFCM※参入 ※Flow cytometryの略
- ・免疫分野の収益性、Inostics, Partec子会社化後のシナジー創出

変革

変革の推進

- 人材の獲得と育成
 - グローバル人材の獲得
 - グローバルコミュニケーションセンターを活用した人材育成の強化
- ダイバーシティの推進
 - 働きやすい職場環境の推進（女性が活躍できる職場作り等）
 - 障がい者雇用の促進（2017年4月シスメックスハーモニー株式会社設立）
- コーポレート・ガバナンスの強化
 - 監査等委員会設置会社への移行
 - 社外取締役の増加（1名 ⇒ 4名）
 - 国際会計基準（IFRS）適用



グローバルコミュニケーションセンターおよび研修風景



女性活躍推進法に基づく
優良企業認定マーク「えるぼし」



Sysmex Corporation

従業員とその家族、地域社会の
幸福に寄与している企業



Sysmex America Inc.

Chapter 3

中期経営計画(2018年3月期～2020年3月期)

外部環境

■ マクロ環境

- 不透明な世界情勢、ナショナリズム台頭
- 高齢化社会（先進国）
- 人口増加（新興国、開発途上国）

■ 技術革新

- ビッグデータの活用
- AI、ロボット技術の進化

■ ヘルスケア市場の変化

- 先進医療の進展（個別化医療、再生医療等）
- 医療費抑制政策（先進国・中国）
- 医療インフラ整備（新興国、開発途上国）
- 異業種からの参入、新興国企業の台頭

■ 社会的価値観の変化

- 「企業の社会的責任」の重要性の高まり

内部環境

■ グローバルな販売サポート体制強化

- 台湾 直接販売・サービス体制へ移行
- ガーナ現地法人設立
- ミャンマー支店設立

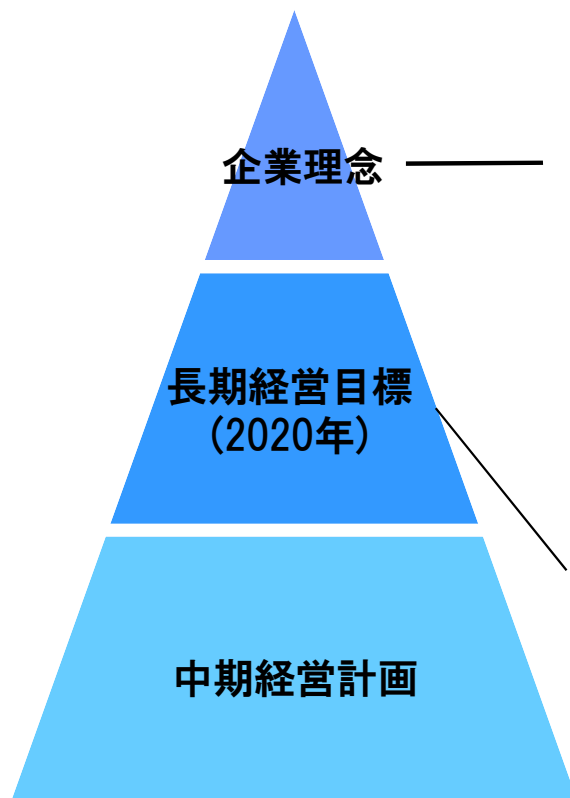
■ 技術、事業基盤の獲得

- 理研ジェネシスの子会社化
- 技術プラットフォームの拡充
- オープンイノベーションの推進

■ ESGの推進

- 事業を通じた社会課題解決
- 多様な人材獲得（国籍、性別等）
- ガバナンス強化（監査等委員会設置会社）

企業理念、長期ビジョン



企業理念

—— **Sysmex Way**

長期経営目標
(2020年)

中期経営計画

■ 長期経営目標 -ビジョン-

「特徴のあるグローバルなヘルスケアテストング企業」
(A Unique & Global Healthcare Testing Company)

Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

Value

私たちは、独創性あふれる
新しい価値の創造と、
人々への安心を追求し続けます。

Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、
自らの強みと最高のチームワークを
発揮します。

長期経営目標 ポジショニング:

ヘマトロジー、凝固、尿分野における
グローバルNo.1(アライアンス含む)

アジアIVD市場におけるリーディングカンパニー

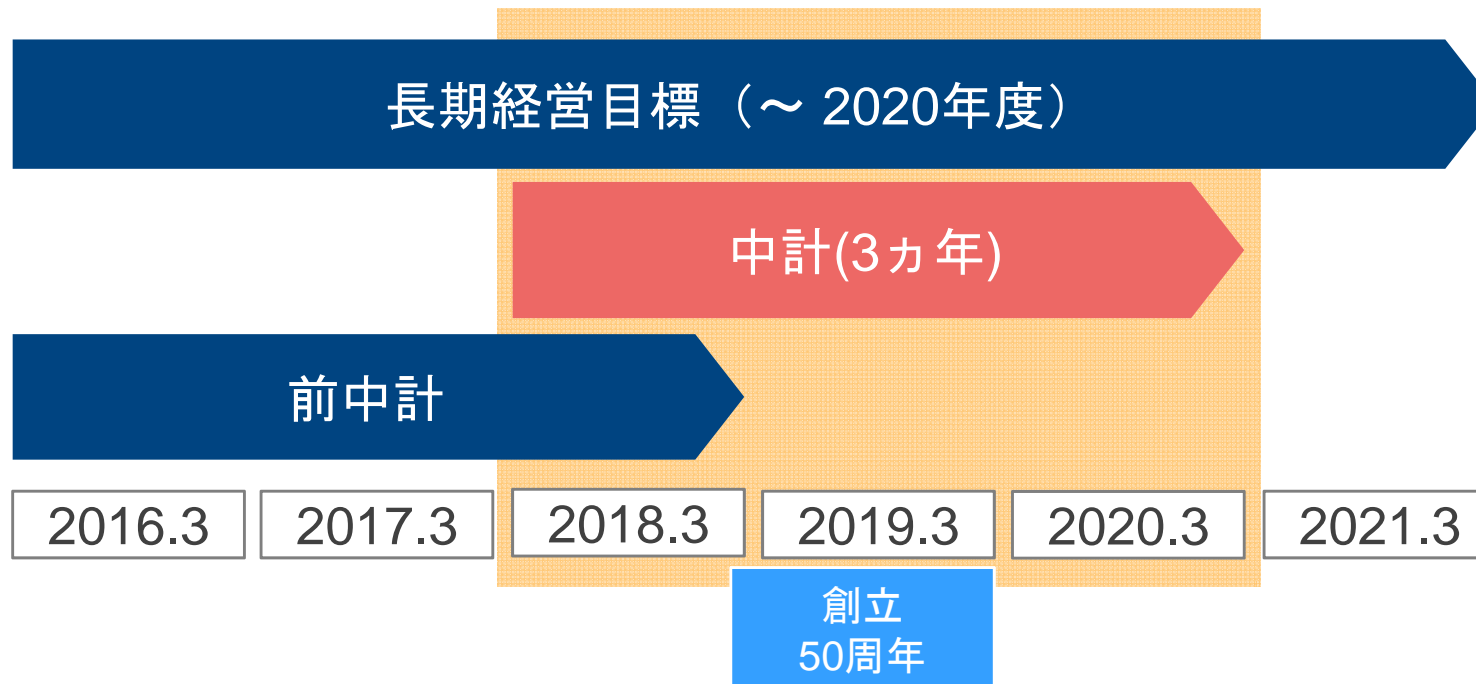
免疫分野におけるユニークで存在感ある
プレイヤー

個別化医療に貢献する先進的な
グローバルプレイヤー

価値と安心を提供する魅力あふれる会社

スピード豊かな経営を実践する One Sysmex

中期経営計画の位置づけ



中期経営計画の位置づけ (2018年3月期～2020年3月期)

- ・ 長期経営目標のポジショニング達成へ向けた仕上げ期間
- ・ 2020年度以降を見据えたポートフォリオの変革推進
- ・ 創立50周年の節目

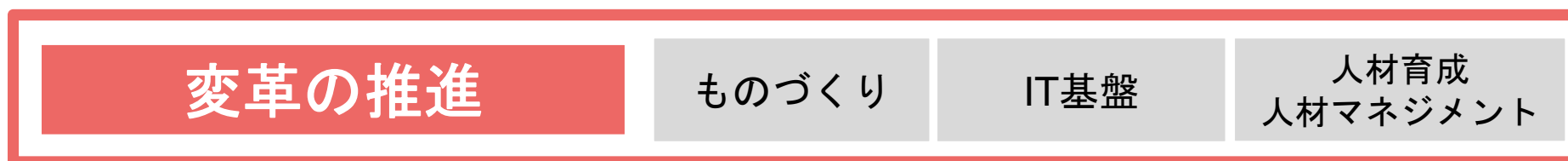
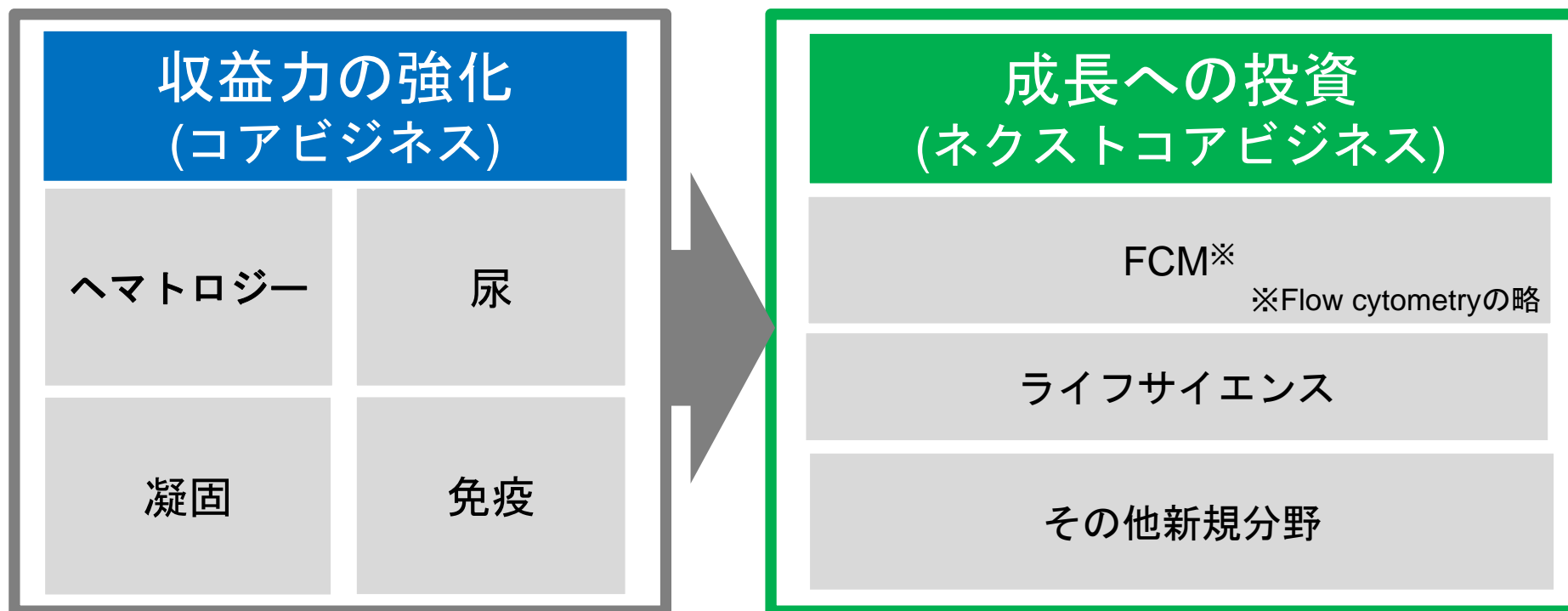
中期経営計画の概要



2020年3月期

| 売上高 | 営業利益 | ROE | 営業CF | フリーCF |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 3,500 億円 | 720 億円 | 20 %以上 | 550 億円 | 300 億円 |

中計為替レート (1USD = 110.0円、1EUR = 115.0円、1CNY = 16.0円)



- **ヘマトロジー分野の市場拡大による収益力の強化**
 - 米国における絶対的No.1の達成（西海岸販促強化、大手検査センターへの導入）
 - 中国における2級病院以下への販促強化
 - 新興国における高成長の実現

- **新製品拡販による尿検査事業の拡大**
 - 新たなコンセプトによる尿検査の効率的なワークフロー実現（定性＋沈渣＋画像＋データマネジメント）

- **凝固分野のグローバルシェア拡大による収益性向上**
 - シーメンス社とのアライアンスを活用したグローバル展開の加速
 - 線溶系試薬※の導入加速（中国、日本など） ※血液凝固異常、血栓の検査等に使用

- **免疫分野における日本、中国、アジアでの事業拡大と収益性改善**
 - 肝疾患領域での事業拡大
 - 中国、アジアにおけるユニーク項目の市場導入（肝臓の線維化検査用試薬 M2BPGi試薬等）
 - 売上拡大および原価低減等による収益性の改善

● FCM事業の基盤構築

- クリニカルFCM製品の市場導入
- リサーチ・インダストリー領域での販促強化



フローサイトメーターRF-500
(リサーチ、インダストリー向け)

● ライフサイエンス事業の拡大

- 理研ジェネシスおよびInosticsのラボアッセイ事業の推進
- クリニカルPCRの市場導入、遺伝子関連事業の拡大
- OSNATM法によるリンパ節転移迅速検査の市場拡大



クリニカルPCR

● その他新規分野の事業化

- 超高感度HISCLTM、子宮頸がん検査システム、グルコースAUC（食後高血糖状態モニタリングシステム）、その他新たな事業の促進



LC-1000
(子宮頸がん検査システム)



グルコースAUC
(食後高血糖状態モニタリングシステム)



超高感度HISCLTM

- **ものづくりのスピードと質の向上**
 - バイオ診断薬開発・生産力の強化（バイオ診断薬拠点の設立）
 - お客様に信頼され続ける高い品質と安定供給体制の強化
- **業務プロセス最適化を目指したIT基盤の強化**
 - サプライチェーンのプロセス最適化
 - エンジニアリングチェーンのプロセス最適化
- **グループの成長を支える人材育成と人材マネジメントの強化**
 - 次世代リーダー人材と高度専門人材の獲得および人材育成の強化
 - 多様な人材が働きやすい職場環境の整備（ダイバーシティのさらなる推進）

持続可能な社会の実現へ貢献(ESG)



E: 環境、S: 社会、G:ガバナンス

S 製品・サービスを通じた医療課題解決

アルツハイマー検査の実現

生体検査
(CTスキャンによる画像検査等)

血液検査による早期発見
(低コスト、低侵襲)

感染症マネジメントの推進

検査技師による目視や簡易
キットによる検査

自動化の推進
(検査コスト削減、熟練技術不要)



マラリア専用機
(研究用)

ゲノム医療の実現

疾患中心の診断、治療

遺伝子解析に基づく
個別化医療の推進

S 人材の活用

人材獲得、育成の強化

- ・次世代リーダー人材
- ・高度専門人材

ダイバーシティの推進

- ・多様な人材の獲得および育成
- ・多様な人材が働きやすい職場環境の整備

E 環境への配慮

廃棄物の低減

- ・濃縮試薬による輸送・廃棄物削減
- ・紙パック試薬の普及
- ・梱包材の簡素化、リユース化

物流効率性の改善

- ・輸送回数の削減によるCO2削減

G ガバナンス

リスクマネジメント、コンプライアンス体制強化

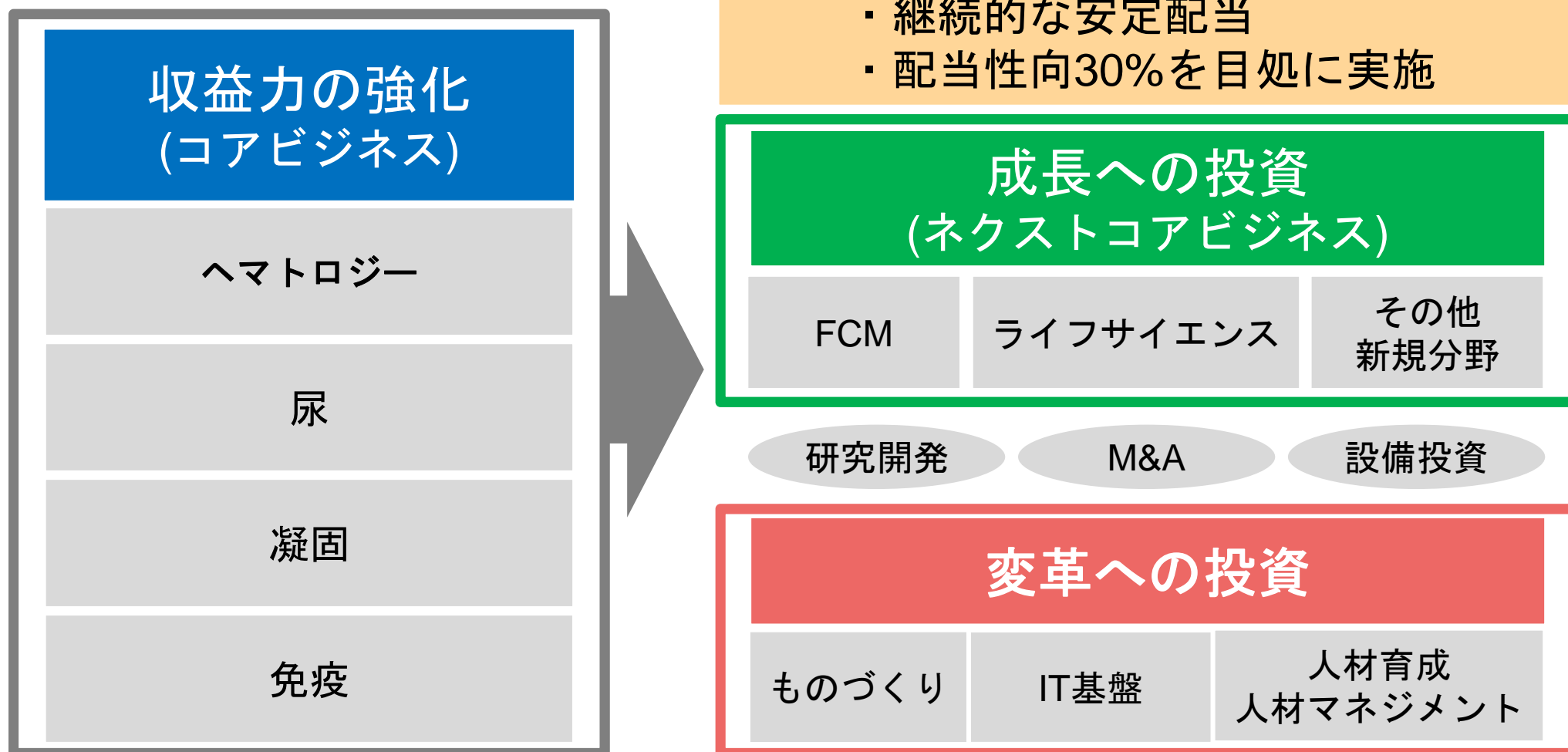
- ・リスクマネジメントおよびコンプライアンスのグローバル体制強化

コーポレート・ガバナンスの強化

- ・取締役会の実効性評価

創立50周年を迎え、より持続可能な企業を目指し経営品質を向上

収益力の向上および持続的な企業価値向上に向けた積極的な投資とともに適正な株主還元を行い、ROEを改善していく



配当：16期連続の増配(2018.3期予想)



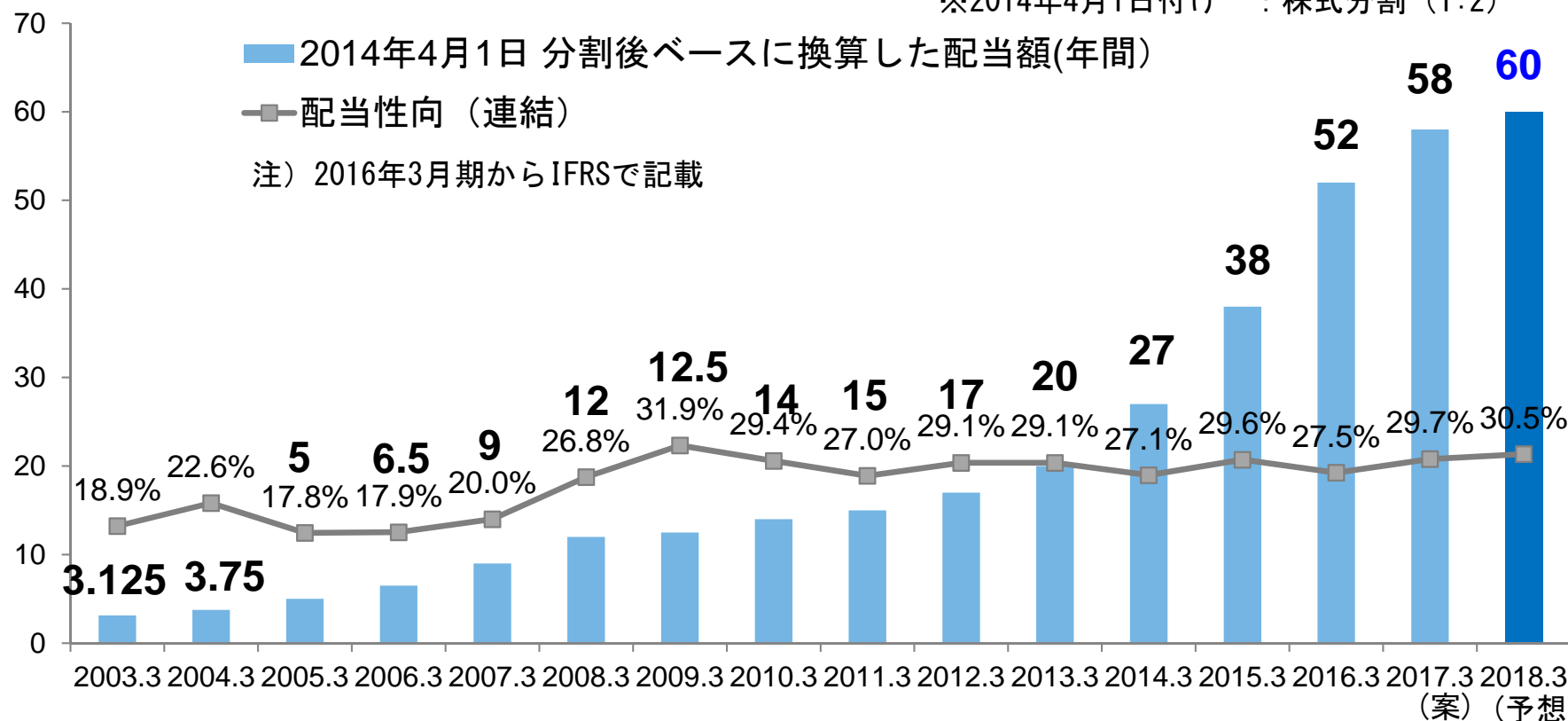
シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

(円)

※2005年11月18日付け：株式分割（1：2）

※2011年4月1日付け：株式分割（1：2）

※2014年4月1日付け：株式分割（1：2）



Chapter 4

2018年3月期 業績予想

連結 通期業績予想



2018年3月期 連結業績予想

売上高 2,750億円

営業利益 570億円

営業利益率 20.7%

親会社の所有者に帰属する当期利益

410億円

当期利益率 14.9%

投資計画

設備投資 180億円

減価償却費 140億円

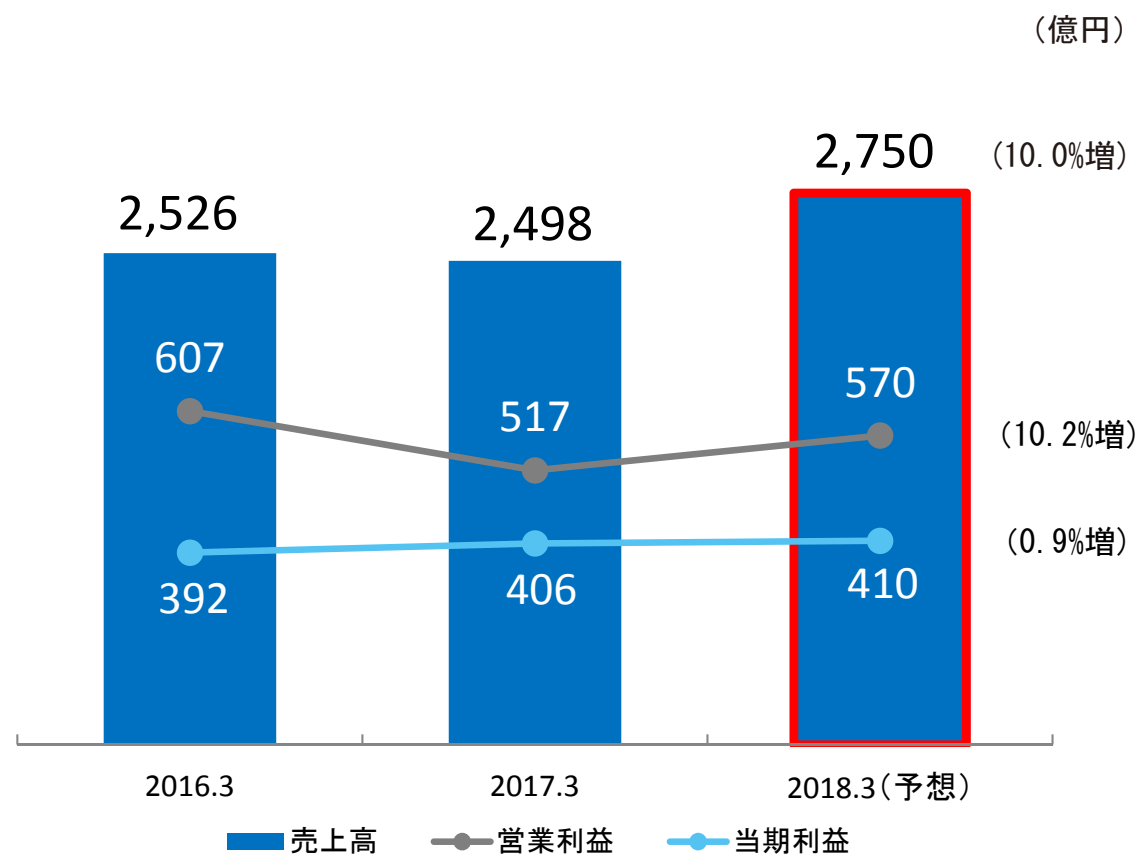
研究開発費 175億円

● 想定為替レート

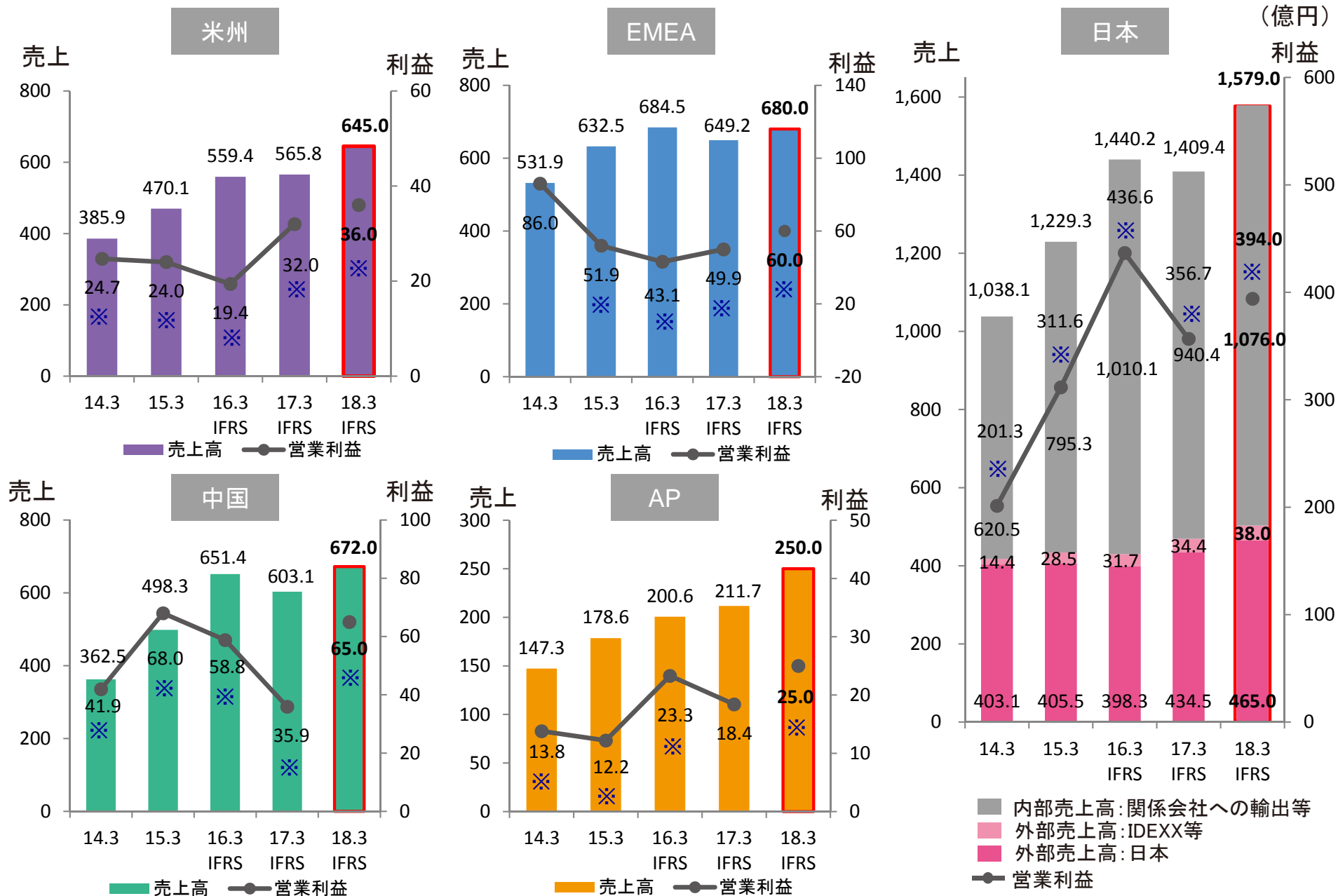
| | 通期想定 | 前期実績 (17年3月期) |
|-------|--------|------------------|
| 1 USD | 110.0円 | 108.4円 |
| 1 EUR | 115.0円 | 118.8円 |
| 1 CNY | 16.0円 | 16.1円 |

● 為替感応度の概算値

| | 売上 (年間) | 営業利益 (年間) |
|-----|------------|--------------|
| USD | 5.7億円 | 5.7億円 |
| EUR | 4.1億円 | 1.2億円 |
| CNY | 41.5億円 | 4.0億円 |



所在地別 通期業績予想



補足資料

中期経営目標

中期経営目標



(単位：億円)

● 連結損益計算書

| | | 2018年3月期 | 2020年3月期 |
|------------------|----|----------|----------|
| 売上高 | 日本 | 465 | 568 |
| | 海外 | 2,285 | 2,932 |
| 売上高 | | 2,750 | 3,500 |
| 営業利益 | | 570 | 720 |
| 営業利益率 | | 20.7% | 20.6% |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | | 410 | 520 |

● 所在地別売上高 営業利益

| | | | 2018年3月期 | 2020年3月期 |
|-------|-------|-------|----------|----------|
| 日本 | 売上高 | 外部売上高 | 503 | 617 |
| | | 内部売上高 | 1,076 | 1,380 |
| | 売上高 | | 1,579 | 1,997 |
| | 営業利益 | 営業利益 | 394 | 467 |
| 営業利益率 | | 25.0% | 23.4% | |
| 米州 | 外部売上高 | | 645 | 809 |
| | 営業利益 | | 36 | 57 |
| | 営業利益率 | | 5.6% | 7.0% |
| EMEA | 外部売上高 | | 680 | 865 |
| | 営業利益 | | 60 | 73 |
| | 営業利益率 | | 8.3% | 7.9% |
| 中国 | 外部売上高 | | 672 | 898 |
| | 営業利益 | | 65 | 86 |
| | 営業利益率 | | 9.7% | 9.6% |
| AP | 外部売上高 | | 250 | 311 |
| | 営業利益 | | 25 | 35 |
| | 営業利益率 | | 10.0% | 11.3% |

中期経営目標



(単位：億円)

● 事業別売上高

| | | 2018年3月期 | | 2020年3月期 | |
|----------|--------|----------|--------|----------|--------|
| | | 売上高 | 構成比 | 売上高 | 構成比 |
| HU事業 | ヘマトロジー | 1,725 | 62.7% | 2,010 | 57.4% |
| | 尿 | 200 | 7.3% | 280 | 8.0% |
| | | 1,925 | 70.0% | 2,290 | 65.4% |
| ICH事業 | 免疫 | 115 | 4.2% | 240 | 6.9% |
| | 生化学 | 30 | 1.1% | 30 | 0.9% |
| | 凝固 | 428 | 15.6% | 530 | 15.1% |
| | | 573 | 20.8% | 800 | 22.9% |
| コア事業 | | 2,498 | 90.8% | 3,090 | 88.3% |
| ネクストコア事業 | FCM事業 | 26 | 0.9% | 80 | 2.3% |
| | LS事業 | 74 | 2.7% | 140 | 4.0% |
| | その他 | 5 | 0.2% | 30 | 0.9% |
| ネクストコア事業 | | 105 | 3.8% | 250 | 7.1% |
| その他※ | | 147 | 5.3% | 160 | 4.6% |
| 売上高 計 | | 2,750 | 100.0% | 3,500 | 100.0% |

※ 臨床検査情報システム、仕入れ商品等

- 投資計画： 2018年3月期～2020年3月期（3年間累計）

| | | |
|-------|-------|----------------|
| 設備投資 | 600億円 | （バイオ診断薬拠点建設含む） |
| 減価償却費 | 500億円 | |
| 研究開発費 | 620億円 | |

- 為替レート： 2018年3月期～2020年3月期

1USD = 110.0円

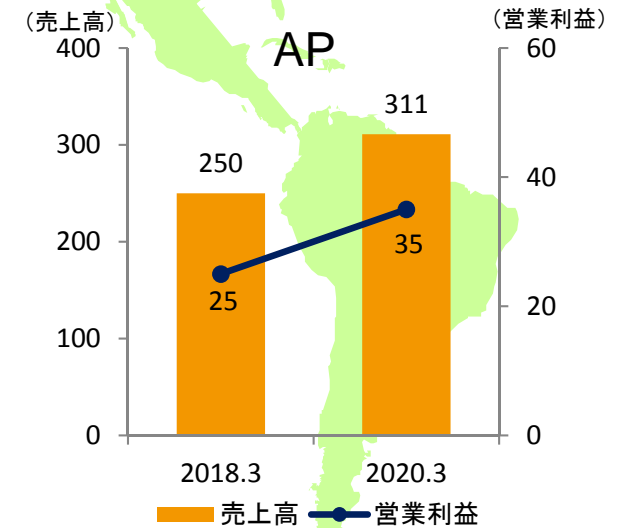
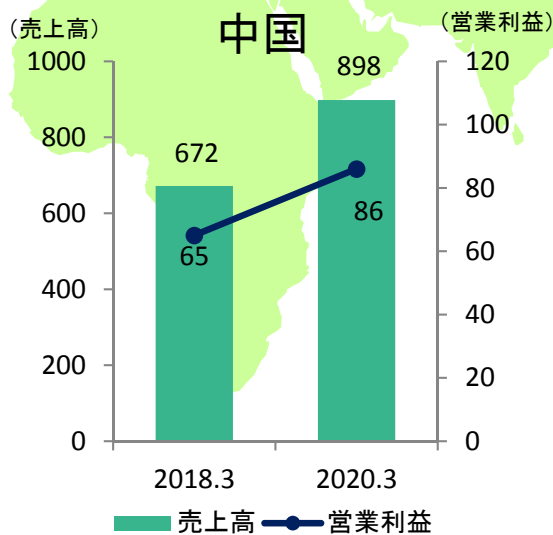
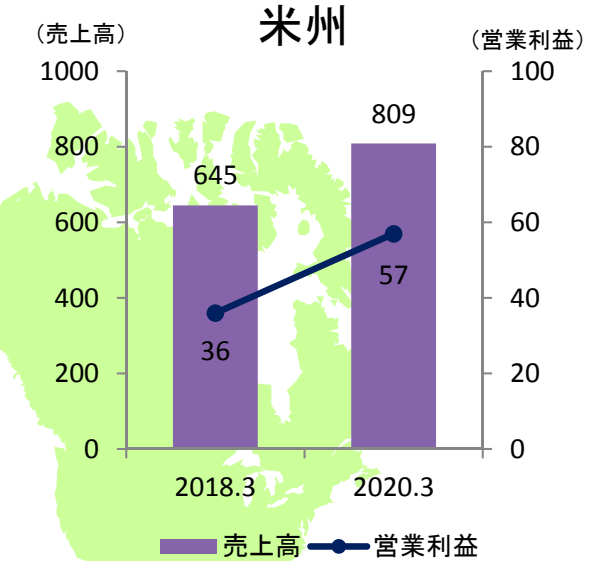
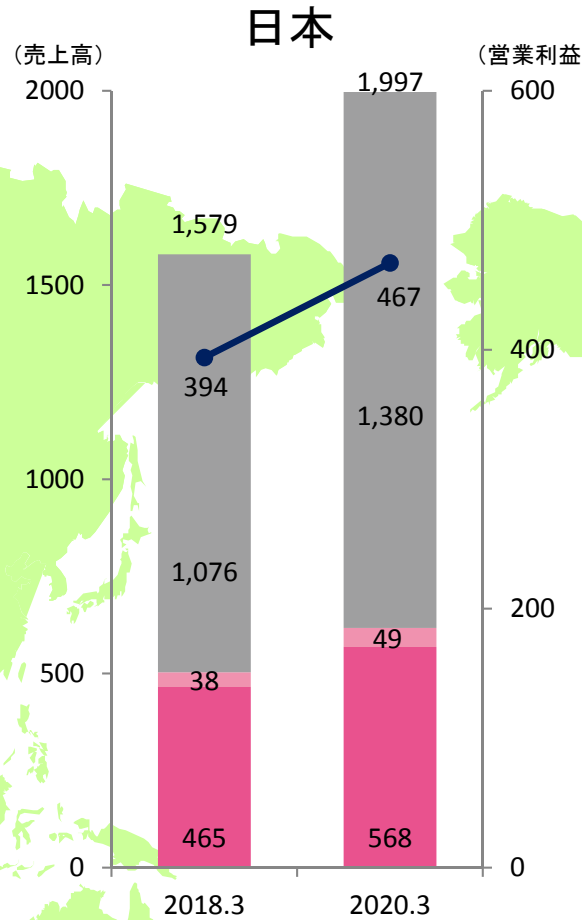
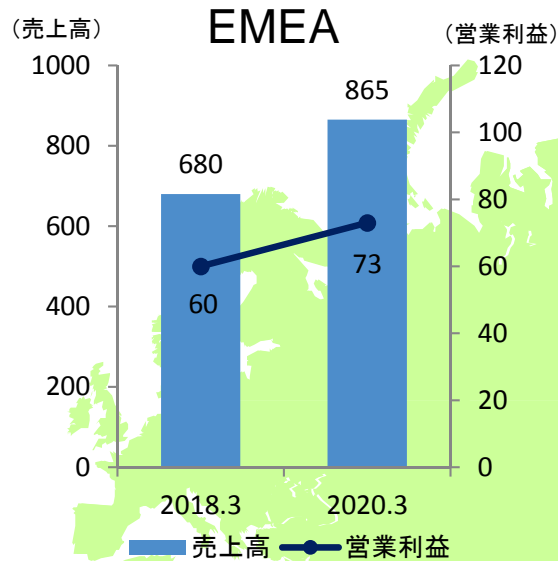
1EUR = 115.0円

1CNY = 16.0円

中期経営目標 —所在地別売上高・営業利益—



(単位：億円)



■ 内部売上高: 関係会社への輸出等
 ■ 外部売上高: IDEXX等
 ■ 外部売上高: 日本
 ● 営業利益

We Believe the Possibilities.

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

シスメックス株式会社

〈お問合せ先〉

シスメックス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

IR・広報部

電話：078-265-0500

メールアドレス：info@sysmex.co.jp

www.sysmex.co.jp